

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	放課後子ども教室設置運営事業	会計	一般会計	事業No.	713	施策順No.	37-031
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-7-13-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	学校教育課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	19	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	放課後、安全・安心な居場所を必要とする児童生徒						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		放課後子ども教室を設置した小学校の全児童数	1136	1340	1487	1769	1703	
	意図	放課後、学校の余裕教室等で仲間と共に地域の大人達から様々なことを学びながら過ごせるようにする						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	放課後子ども教室の実施校数	2	3	4	5	5	6	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	新たに座光寺小学校に放課後子ども教室を開設し、事業拡大している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 放課後子ども教室の設置と運営の推進</p> <p>この事業は、安心・安全な子どもの活動拠点として、体験活動やスポーツ、地域住民との交流活動等を行うことを目的としている</p> <p>(1) 放課後や週末等に子ども達にとって安心・安全な活動拠点(居場所)として、小学校の余裕教室等の準備</p> <p>(2) 地域の方々に、安全管理員、学習アドバイザー、コーディネーターとして参画してもらえよう働きかけ</p> <p>(3) 子ども達に、地域の人たちによる学習やスポーツ指導、様々な体験や地域の人々との交流の機会の提供</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 放課後子ども教室の開設・運営</p> <p>(1) 新設の放課後子ども教室の開設・運営に向けての準備</p> <p>(2) 丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺小学校の放課後子ども教室の運営への協力</p> <p>(3) 23年度以降の開設について、地域の要望の確認と準備</p>	実施校	5校
23年度実施計画	<p>1 放課後子ども教室の開設・運営</p> <p>(1) 新設の放課後子ども教室の開設・運営に向けての準備</p> <p>(2) 丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺小学校の放課後子ども教室の運営への協力</p>	実施校	5校

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	放課後子どもプラン推進事業補助金 1,933千円(補助率:国1/3 県1/3)
		県支出金	2,078	1,933	2,944		
		起債					
		その他					
		一般財源	1,849	1,283	2,055		
	計(A)	3,927	3,216	4,999			
	正規職員所要時間		500				
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)		1,788				
	トータルコスト A+B		5,004				

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の放課後児童クラブの利用を希望しても利用できない子ども達への対応を必要とする声がある。</li> <li>議会より、放課後子ども教室の開設に前向きに取り組むよう、要望が出された。</li> <li>放課後子ども教室の開設を望む保護者の声あり</li> </ul>
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子育て世代、これから子どもを産もうとする世代 産み育てやすい社会環境が整う	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・放課後児童対策の一環として、小学生と地域住民の交流の場になっている。		
	後期に向けた課題	・放課後子ども教室の実施希望を把握し、事業推進に努める。		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・放課後子ども教室の実施校数を増やすため、実施希望学区への事業説明。		
	後期に向けた課題	・実施校数を増やす。		
コストを削減するためにどの ような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・実施校数が増えれば、事業費が増加するためコスト削減はできない。		
	後期に向けた課題	・コスト削減はできない。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・実施要綱により市が実施主体となっているため、市の関与が必要である。保険料と教材費について、保護者が負担している。		
	後期に向けた課題	・市の関与及び受益者負担が適切であるため、現状を維持する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけを しましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①実施主体は飯田市であるが、実際の運営はコーディネーターを中心に地域住民に委ねている。円滑に運営できるように物品の購入等の事務手続きの役割を果たしている。		
	後期に向けた課題	・放課後子ども教室スタッフと小学校の調整を図り、より円滑に運営できるようにする。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・平成19年度から放課後子ども教室を開設し、現在5箇所で開催しており、順調である。 ・スタッフ不足により、運営に苦慮している学区がある。		
	後期に向けた課題	・すくすくプランの目標に向けて、実施希望学区との調整に努める。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------